

データ取引で利用されるデータ基盤技術との 相互接続性実証参加協力について

2022年1月20日
エブリセンスジャパン株式会社

1. 背景

エブリセンスジャパン株式会社（以下、弊社）は、データ保有者とデータの活用を希望する者を仲介し、売買等によるデータの取引を公平公正に支援する仕組みとして「データ取引市場」をサービスとして運営しております。この「データ取引市場」は、我が国が掲げる Society 5.0、あるいはデータ駆動型社会の実現に寄与する社会インフラとして位置付けられ、一般社団法人データ社会推進協議会としても、IEEE P3800 として国際標準化の取組みが進められているものです。

弊社では、データ取引市場の成立要件や課題解決の方向性について検討を進めるなかで、無体物であるデータは民法上の権利（所有権、占有権等）対象外となり、法的にはデータが一般的には財産保護の対象にはならないということはデータ取引市場の社会実装に向けた課題のひとつであると捉えています。そこで、データ保有者が第三者にデータを提供し、データを提供された者が、新たな経済活動に向けてそのデータを利用し財を得るという一連の営みにおいて、「データを利用する権利」が第三者により保証されること、および権利自体を取引の対象とすることで社会におけるデータの流動性を高める仕組みとして「データ利用権取引市場」を新たに開発し、実証を行うものです。

なお、この実証は「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術／分野間データ連携基盤技術の社会実装に向けた外部仕様書の作成・公開および相互接続性実証」にて、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より日本電気株式会社とともに弊社が採択を受け、弊社が担当する実証テーマ「(エ)データ取引で利用されるデータ基盤技術との相互接続性実証」において実施するものです。

2. 実証の目的

本実証は、一般の企業が参画し、具体的な業態、業務、データの提供・活用を想定してデータ利用権取引市場のサービスをオンライン上で操作していただき、ビジネス展開に繋がる知見や課題を獲得することを目的としております。

3. 実証実施期間

2023年2月6日（月）～2023年2月17日（金）

4. ご協力内容

- データ提供者、データ利用者またはデータブローカーの立場をお選びいただき、弊社がご用意するシナリオに従いシステムの操作を実施していただきます。
- データ提供者としてご参加いただく場合、実際の取引を想定し、提供対象のデータについて他の実証協力企業とともに概要をヒアリングさせていただきます。
- 操作実施終了後、評価アンケートにご回答いただきます。

5. 参加者募集説明会

[日時] 2023年1月26日(木) 16時00分～17時30分

[開催方法] Zoom ウェビナー

[参加申込フォーム]

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_VWiAhY4YSTOhuCXII5n7MQ

6. ハンズオンセミナー

参加者募集説明会にご参加いただいた方のうち、実証にご協力可能な企業様にはシステム操作方法、および実証シナリオについて、下記日時にてハンズオンセミナーを実施いたします。

[日時] 2023年2月3日(金) 16時00分～17時30分

[会場] CROSSCOOP 新橋/内幸町 セミナールーム A

※Zoom で参加いただくことも可能です。

以上